





事業番号	06 01 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	環境保全研究所費	部局	環境部	課・室	環境政策課
		実施期間	H7 ~	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	観光消費額、健康寿命				
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備	4-4 生命・生活リスクの軽減			
	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり	4-5 地球環境への貢献			

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 ・環境保全に関する試験検査、調査研究、情報の収集・提供の推進 1 迅速で正確な検査により行政のバックアップ 2 行政課題を反映させた調査研究の実施 3 県民に開かれた信頼される研究所 【これまでの取組】 ・行政検査、一般依頼検査の実施、環境の保全及び保健衛生に関する調査研究、放射能測定調査等 安茂里庁舎：生活環境の保全、感染症や食中毒、食品の安全性等に関する試験検査及び調査研究 飯綱庁舎：自然環境の保全、気候変動影響及び適応策等に関する調査研究、環境学習				
	令和2年度点検結果 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・危機管理事象などに即応する技術力の維持や測定機器の老朽化などに課題がある。 ・その時々に応じた行政課題やニーズに即した調査研究の実施が求められる。 ・当所で実施している業務や研究について、広くわかりやすい情報発信が必要。 </td> <td> ・国などが主催する研修等に参加するとともに、OJTによる技術の承継を行う。また、計画的な機器の更新を進める。 ・翌年度の研究課題について、早い段階から関係課の意見を聴取し、行政の視点やニーズを反映させる取組を継続する。 ・サイエンスカフェや公開講座による研究成果の県民への公表を引き続き進める。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・危機管理事象などに即応する技術力の維持や測定機器の老朽化などに課題がある。 ・その時々に応じた行政課題やニーズに即した調査研究の実施が求められる。 ・当所で実施している業務や研究について、広くわかりやすい情報発信が必要。
課 題	今後の方向性				
・危機管理事象などに即応する技術力の維持や測定機器の老朽化などに課題がある。 ・その時々に応じた行政課題やニーズに即した調査研究の実施が求められる。 ・当所で実施している業務や研究について、広くわかりやすい情報発信が必要。	・国などが主催する研修等に参加するとともに、OJTによる技術の承継を行う。また、計画的な機器の更新を進める。 ・翌年度の研究課題について、早い段階から関係課の意見を聴取し、行政の視点やニーズを反映させる取組を継続する。 ・サイエンスカフェや公開講座による研究成果の県民への公表を引き続き進める。				

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓ 行政からの依頼検査及び調査研究等の実施 ・環境部門：河川湖沼の水質モニタリング、大気常時監視、廃棄物処分場調査、生物多様性の保全に係る研究 ・保健衛生部門：感染症や食中毒発生時の原因究明、食品中の残留農薬等検査 ・特定項目、新型コロナウイルス感染症に係る遺伝子検査や原発事故に係る放射性物質検査	 遺伝子解析検査	 放射性物質検査
	✓ 信州気候変動適応センターの運営 ・平成31年4月環境エネルギー課（現環境政策課）と共同設置 ・長野県における気候変動の研究とそれに基づく適応策の影響を研究するとともに、得られた知見を県民に還元する。	 サイエンスカフェ	 サイエンスカフェ

指標の状況及び目標値 [▲:改善、▼:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)			
前年度繰越			R1年度	R2年度	R3年度											
0			105,780	122,003	要求 116,570 予算案 —	予算額	環境保全等に関する研究数	23件	23件	→	24件	▲	25件			
0			-22,080	-1,310			外部評価で概ね適切以上の評価の割合	100%	100%	→	100%	→	100%			
83,700			83,700	120,693	要求 116,570 予算案 —		公開講座等で参加者の満足度(アンケート調査による満足・おおむね満足)の割合						80%			
56,804			56,804	61,770	要求 78,366 予算案 —											
75,513			75,513			決算額(B)										
59.0			59.0	59.0		職員数(人)										
成果指標設定理由 1 研究数は研究の活性度の指標となる。 2 外部の委員による評価により、公正な評価が期待できる。 3 県民参加による参加者の満足度は開催した講座等の啓発効果を測る指標となる。 (R3年度目標値の設定根拠)1 ここ数年の研究数の推移を考慮。2 「概ね適切」とされるレベル以上でないこと研究意義が問われるため。3 参加者の8割くらいの方の満足を得たいと考えたため。																

事業名	環境保全研究所費	部局	環境部	課・室	環境政策課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	環境保全研究所管理費	50,014 千円	52,832 千円	要求 67,171 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	庁舎（安茂里、飯綱） 管理経費	直接	庁舎光熱水費 燃料費 施設修繕費 等
2	庁舎（安茂里、飯綱）	委託	消防施設保守点検業務 空調設備保守点検業務 電気保守点検業務 等

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	環境保全研究所管理費	55,766 千円	69,171 千円	要求 49,399 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	研究等事業費	直接	試験研究検査用品消耗品 パソコンリース代 医薬材料費 等
2	放射能調査費	直接	大気常時監視システムリース代 検査消耗品代 調査補助金賃金 等
3	放射能等測定機器点検業務	委託	放射能モニタリングポスト点検 ゲルマニウム半導体研修気点検委託 β線自動測定装置点検 等